

第32回 少年少女俳句大会  
教育委員会賞 作品

小学校の部

みかんたべて

やさしいきもち

クリスマス

諫山 一年 西山 愛華

おほしさま

きこえているかな

じよやのかね

豊津 二年 川原 杏壬

雪げしき

ぼくの心も

すきとおる

与原 二年 太田 和志

弟が

はじめて歩む

お正月

行橋 三年 田上 一都

キャンプ場

ねぶくろできく

雨の音

泉 四年 村重 萌歌

夜空にドン

川の水にも

花火さく

行橋北 四年 河野 瑛太

新雪が

枯木のさみしさ

かくしてる

馬場 五年 マクドナルドリリア

八人で

育てた稲の

かりとりだ

白川 五年 繁永 萌果

正月は

行ってみたいな

塔のまち

犀川 六年 笹原 颯侑

こいのぼり

体をとおり

すぎる風

久保 六年 長谷川 隼人

中学校の部

北風に

追い立てられる

持久走

勝山

二年 向井

亜友

サッカー部

皆で走って

初詣

犀川

一年 井本

悠太

張りつめた

空気楽しむ

初日の出

行橋

二年 尾平

桃香

新しい

年の近づく

鈴の音

泉

一年 西本

清花

平尾台

富士にも負けぬ

雪化粧

長峽

一年 竹下

海舟

坂行けば

地に昇り立つ

陽炎が

育徳館

二年 上橋

周平

鹿の声

寒き野山に

こだまする

伊良原

二年 本松

音奏

吐く息の

白さに驚く

冬の古都

今元

二年 岡本

咲菜

初景色

目に映るのは

馬ヶ岳

中京

三年 水本

愛海

雪かきや

寒さ忘れて

火照る

豊津

三年 馬場

勇人

初雪が

幼いころ

つれてくる

新津

三年 村田

明弘